

# 一般会計決算に対する討論

平成29年度一般会計決算は、9月定例会最終日に認定されました。この議決に先立ち、同決算に対する討論が行われ、4人の議員から賛成意見が、4人の議員から反対意見がありました。その概要は次のとおりです。

## 賛成

●平成29年度決算は、経常収支比率が95.6%と前年度を

●平成29年度決算は、前年度に引き続き過去最高額となり、本市の地域特性を生かした事業が打ち出され、それらがしっかりと実を結んだものと高く評価する。主な新規、拡充事業に意見を述べる。保健福祉プラザが、福祉、介護、保健、医療を

●平成29年度決算は、財政の健全化判断比率に実質赤字はなく、資金不足比率などの指標も国の基準を下回り、健全財政を維持したと評価する。

●平成29年度決算を総合戦略の4つの基本目標ごとに意見を述べる。「出産・子育て環境の向上」では、開所した保健福祉プラザ内に、子育て世代包括支援センターと子育て支援センターを開設し、子育て支援体制の強化を図った。「稼ぐ力持つ産業・仕事の創出」では、あやせ工匠塾により、将来の市内産業を支える技術を受け継ぎ、産業活力の礎を築く、未来に向けた取り組みを推進した。農産物の収穫量を

●平成29年度決算を総合戦略の4つの基本目標ごとに意見を述べる。「出産・子育て環境の向上」では、開所した保健福祉プラザ内に、子育て世代包括支援センターと子育て支援センターを開設し、子育て支援体制の強化を図った。「稼ぐ力持つ産業・仕事の創出」では、あやせ工匠塾により、将来の市内産業を支える技術を受け継ぎ、産業活力の礎を築く、未来に向けた取り組みを推進した。農産物の収穫量を

●平成29年度決算を総合戦略の4つの基本目標ごとに意見を述べる。「出産・子育て環境の向上」では、開所した保健福祉プラザ内に、子育て世代包括支援センターと子育て支援センターを開設し、子育て支援体制の強化を図った。「稼ぐ力持つ産業・仕事の創出」では、あやせ工匠塾により、将来の市内産業を支える技術を受け継ぎ、産業活力の礎を築く、未来に向けた取り組みを推進した。農産物の収穫量を

●平成29年度決算を総合戦略の4つの基本目標ごとに意見を述べる。「出産・子育て環境の向上」では、開所した保健福祉プラザ内に、子育て世代包括支援センターと子育て支援センターを開設し、子育て支援体制の強化を図った。「稼ぐ力持つ産業・仕事の創出」では、あやせ工匠塾により、将来の市内産業を支える技術を受け継ぎ、産業活力の礎を築く、未来に向けた取り組みを推進した。農産物の収穫量を

●平成29年度決算は、経常収支比率が95.6%と前年度を2.6ポイント下回り、財政の弾力性が確保されている。財政調整基金の残高が、標準財政規模の10%を下回ったことは気がかりであり、財政の健全性を保つよう願う。主な新規、拡充事業を予算の柱ごとに意見を述べる。「都市づくり」では、(仮称)綾瀬スマートインターチェンジ事業用地取得の契約率が99%となり、32年度の供用開始を目指し、着実な進捗を期待する。「産業の活性化」では、あやせ工場合同入社式や研修会の開催により、若手社員同士がネットワークを構築し、市内企業の技術交流や企業間連携など、活性化につながるものと評価する。「地域福祉社会の実現」では、福祉、介護、保健、医療の連携拠点として、保健福祉プラザが開所し、施設機能を發揮するための事業展開を期待する。「子ども・女性政策」では、小児医療費助成を中学3年生まで拡大し、子育て用品の購入費を助成するなど、「子育てするなら綾瀬市」の実現に向けて取り組んでいる。「都市の質の向上」では、小園地区バイパス管工事や災害時車中泊等避難者用物資の備蓄など、安全対策に取り組んだものと評価する。決算から得た課題を

●平成29年度決算は、前年度に引き続き過去最高額となり、本市の地域特性を生かした事業が打ち出され、それらがしっかりと実を結んだものと高く評価する。主な新規、拡充事業に意見を述べる。保健福祉プラザが、福祉、介護、保健、医療を集約、連携し、継続して支援する拠点施設として開所した。プラザ内に子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から出産、子育て期までの多様なニーズに、切れ目なく支援するなど、子どもの成長に欠かせない取り組みを推進した。5歳児発達相談は、就学前児童の成長発達を確認し、小学校や療育機関につなげるなど、子どもに合った支援ができたと考える。基幹型地域包括支援センターを中核とした地域包括ケアシステムの構築や新たな在宅療養相談室の設置など、医療と介護の連携にも取り組んだ。高齢者がいつまでも安心して暮らせるよう、さらなる推進を願う。学校図書館への司書全校配置や蔵書管理システムの導入、子育て支援センターなどへの絵本配本など、乳幼児期から一貫して本に親しめる事業を数多く実施した。子どもたちが健やかに成長し、綾

●平成29年度決算は、財政の健全化判断比率に実質赤字はなく、資金不足比率などの指標も国の基準を下回り、健全財政を維持したと評価する。総務費では、活性化応援寄付金制度が好評で返礼品にかかる経費が増加したが、全国へ本市をPRできる有効な事業と期待する。民生費では、保健福祉プラザが開所した。福祉、介護、保健、医療を集約し、連携を強化することで、市民の健康や福祉の増進につながるものである。商工費では、県下4位を誇る事業所集積の特徴

●平成29年度決算を総合戦略の4つの基本目標ごとに意見を述べる。「出産・子育て環境の向上」では、開所した保健福祉プラザ内に、子育て世代包括支援センターと子育て支援センターを開設し、子育て支援体制の強化を図った。「稼ぐ力持つ産業・仕事の創出」では、あやせ工匠塾により、将来の市内産業を支える技術を受け継ぎ、産業活力の礎を築く、未来に向けた取り組みを推進した。農産物の収穫量を

●平成29年度決算を総合戦略の4つの基本目標ごとに意見を述べる。「出産・子育て環境の向上」では、開所した保健福祉プラザ内に、子育て世代包括支援センターと子育て支援センターを開設し、子育て支援体制の強化を図った。「稼ぐ力持つ産業・仕事の創出」では、あやせ工匠塾により、将来の市内産業を支える技術を受け継ぎ、産業活力の礎を築く、未来に向けた取り組みを推進した。農産物の収穫量を

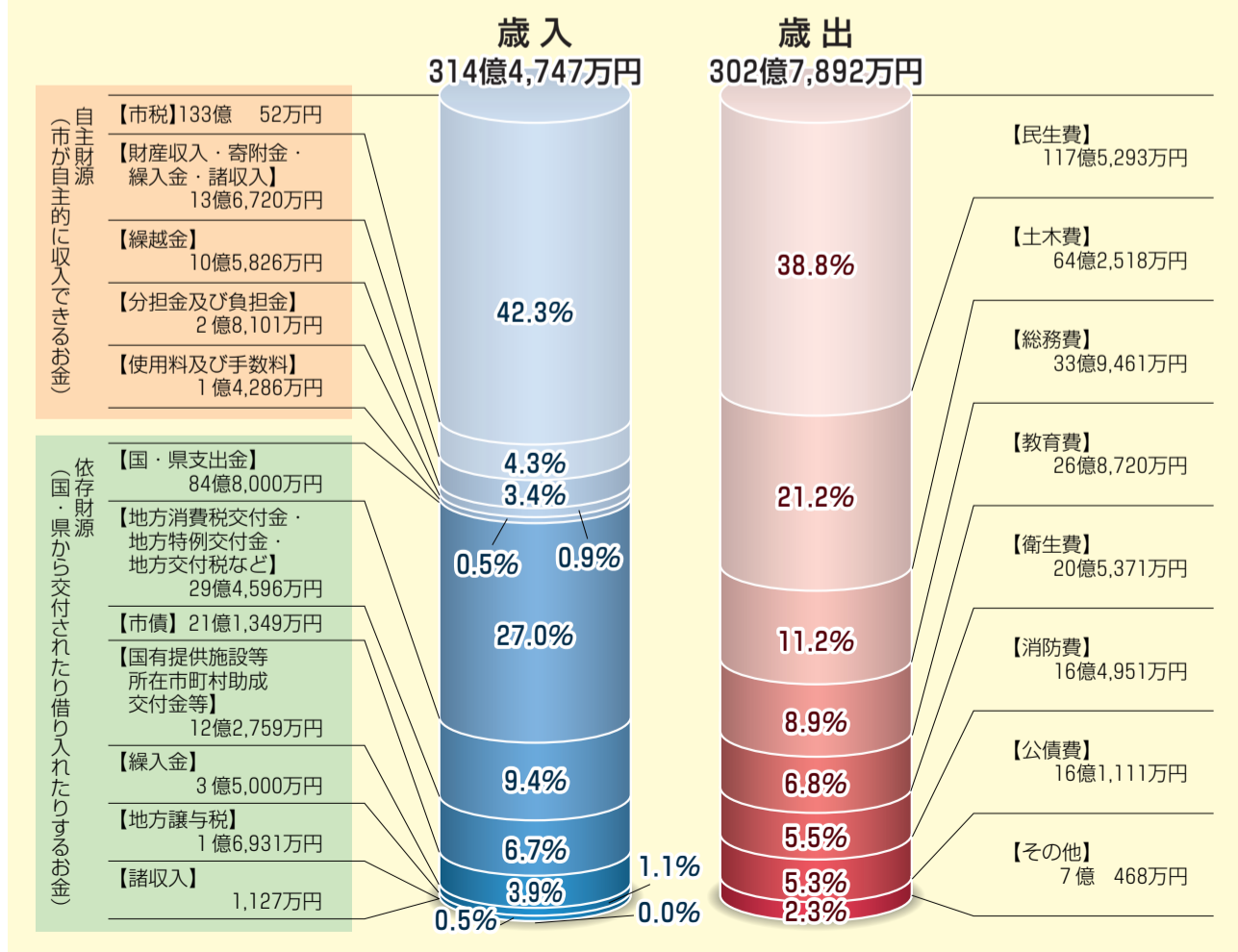
●平成29年度決算を総合戦略の4つの基本目標ごとに意見を述べる。「出産・子育て環境の向上」では、開所した保健福祉プラザ内に、子育て世代包括支援センターと子育て支援センターを開設し、子育て支援体制の強化を図った。「稼ぐ力持つ産業・仕事の創出」では、あやせ工匠塾により、将来の市内産業を支える技術を受け継ぎ、産業活力の礎を築く、未来に向けた取り組みを推進した。農産物の収穫量を

●平成29年度決算を総合戦略の4つの基本目標ごとに意見を述べる。「出産・子育て環境の向上」では、開所した保健福祉プラザ内に、子育て世代包括支援センターと子育て支援センターを開設し、子育て支援体制の強化を図った。「稼ぐ力持つ産業・仕事の創出」では、あやせ工匠塾により、将来の市内産業を支える技術を受け継ぎ、産業活力の礎を築く、未来に向けた取り組みを推進した。農産物の収穫量を

### 平成29年度各会計の決算規模

会計名	歳出決算額	昨年との比較		
		増減	伸び率	
一般会計	302億7,892万円	19億2,047万円	6.8%	
特別会計	国民健康保険事業	104億6,478万円	△3億2,746万円	△3.0%
	下水道事業	31億5,792万円	6,678万円	2.2%
	深谷中央特定土地区画整理事業	3億7,291万円	219万円	0.6%
	介護保険事業	46億7,155万円	3億3,313万円	7.7%
	後期高齢者医療事業	9億8,453万円	7,430万円	8.2%
	計	196億5,170万円	1億4,894万円	0.8%
合計	499億3,061万円	20億6,941万円	4.3%	

### 平成29年度決算状況 (一般会計)



表中に記載の数値は、表示単位未満を四捨五入しています。金額、構成比などの数値は、個々の積み上げと合計額が一致しない場合があります。

(新政会)